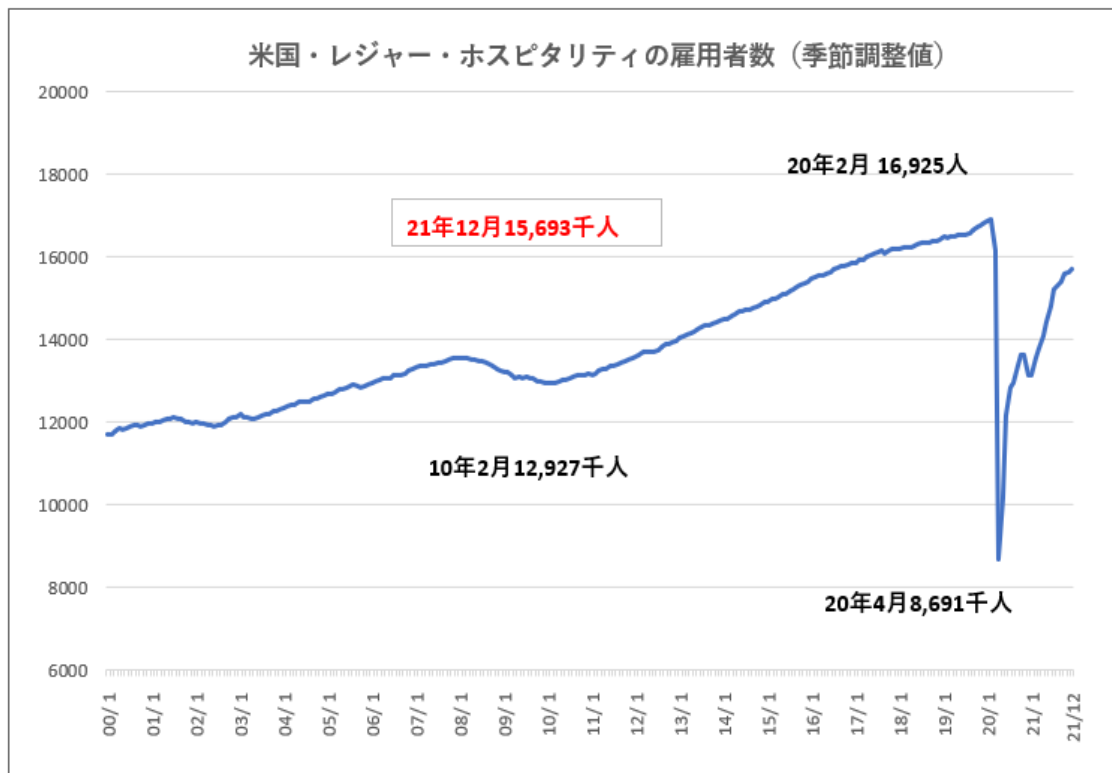


(令和4年1月11日)

< ワンポイントレッスン (実践編) >
(米国雇用の回復)

7日に発表された米国雇用統計、失業率は3.9%と前月比0.3ポイント低下、2020年1月の3.5%に接近となりました。連れて想定されている米連邦準備委員会の引き締めへの動きを反映、米国10年債利回りは昨年3月の水準を上回り、1.8%台を付けました。

なお、米国雇用統計では非農業部門の雇用者は19.9万人増加に止まり、予想を下回ったとか…。ただ、月次の増減数にも注目ですが、全体としてはピーク時を2.3%下回る水準まで回復しています。当サイトの経済指標ウォッチをご参照ください。



米国労働省ウェブサイト、雇用統計から作成

上記グラフは、レジャー・宿泊の雇用者数の推移。レジャー・宿泊はトータルのピーク時を7.2%下回っています。また、グラフにはありませんが教育・医療福祉（多くはヘルスケア&ソーシャルアシスタンス）は、3.1%を下回る水準で、この2業種の回復が遅れています。もっとも、この2業種の求人率は、高い状態が続いています。新型コロナウイルス感染拡大が完全に収束していない中、この分野の回復の遅れはやむをえないところ。雇用の回復は順調です。

(丁)